

# 長崎もり通信



▲佐世保市祇園緑の少年団林業体験(佐世保市烏帽子町)

## 第3回技術研修会

～竹林再生ボランティア技術研修会～

3 2026  
No.099

## 佐世保市祇園緑の少年団

～木育フィールド学習～

森のキセキ

## 長崎県森林ボランティア支援センター

～2025年度のふり返り～



# 佐世保市祇園緑の少年団

## ～木育フィールド学習～

令和8年2月28日（土）烏帽子スポーツの里周辺森林にて、佐世保市祇園緑の少年団のみなさんを対象に、木育フィールド学習を実施しました。森の健全な管理のために木を伐る意義を伝え、森林や林業への理解を深めることを目的として伐木体験や丸太のスライス、バードコールづくりなどを行いました。

伐木体験では、ロープを使って団員全員でヒノキの伐倒を行い、木を伐ることで林内が明るくなることを確認しました。伐倒した木を使った丸太のスライスづくりでは、スライス材を活用する方法について、「手芸の材料に使いたい」など木材を活用する想像力を働かせていました。ヒノキの枝を使ったバードコールづくりでは、金具を入れる穴の深さを熱心に研究する姿が見られ、木で物を作る楽しさを実感していました。

活動を終えて、団員のみなさんは伐倒による森林の明るさの変化や花粉が増えてきている原因などについて、これまでの活動で得た知識をもとに、積極的に発言していました。また、感想では「林業は大変だという事が分かった」、「森林を大切にしたいと思った」などの声があり、今回の体験が森林や林業について考える機会となったようです。短い時間でしたが、活動の様々な場面で当少年団の仲の良さや、学年を越えた信頼関係が見られ、笑顔の絶えないフィールド学習となりました。

少年団の指導者の方に活動への思いを伺うと、「団員には、森・川・海のつながりを理解し、自然の小さな変化にも気づくことができる人になってほしい」と話されていました。祇園緑の少年団では、団長の松瀬さんを中心に、子どもたちが自然とふれあいながら学ぶ活動が続けられています。松瀬さんは、娘さんが少年団の隊長を務めたことをきっかけに活動に関わるようになりました。また、今回お話を伺った指導者の方も松瀬さんに誘われて入団したとのことで、松瀬さんの人柄が周囲の協力者を広げている様子が伺えました。一時はコロナ禍で集合しての活動が出来ないこともありました。活動を再開した今、様々な場所での活動を計画されています。

森林や林業に興味を持つ緑の少年団のみなさんが、森林にふれる体験の場が提供できるよう今後も木育推進を行っていきます。



説明・安全管理



伐木体験



バードコール作り

# 第3回技術研修会 “竹林再生ボランティア技術研修会”

～放置竹林の課題解決と技術習得を目指して～

令和8年1月25日、長与町高田郷において「第3回竹林整備再生ボランティア技術研修会」を開催しました。本研修会は、竹林整備技術の習得と安全意識の向上を目的に、東高田自治会、森林ボランティア団体TAKENOEN、森いくぞう会、一般参加、県立南高生、長与町職員など多様な参加者のもと実施しました。近年、放置竹林は全国的な課題となっており土砂災害リスクの増加や生物多様性の低下、さらには鳥獣被害の温床となるなど、地域環境へ大きな影響を及ぼしています。こうした現状を踏まえ、まずは竹林の特性や整備の意義について説明し、効率的な整備方法と安全管理の重要性について理解を深めました。

実習では、安全装備の確認と準備体操を徹底した上で、整備経験値に合わせた班ごとに分かれて作業を実施。伐採、枝払い、玉伐り、集積、搬出までの一連の行程を体験しました。作業中は声掛けを徹底し、上下作業や近接作業の危険性にも十分配慮しながら進めました。

高校生の参加もあり、世代を超えた協働の場となりました。参加者からは「整備されて明るさを取り戻した竹林を見て達成感を感じた」「安全確認として声掛けの大切さを実感した」といった声が聞かれ、技術面だけではなく地域課題である、荒廃竹林への理解を深める貴重な機会となりました。

本研修会を通じて、竹林整備に関する基礎知識と実践技術の習得が図られると共に、地域住民、ボランティア団体・教育機関の連携強化にも繋がりました。

今後も継続的な研修を実施し、全世代に森林環境の現状を伝え、人材育成と課題解決に向けた取組に寄与していきます。



説明・安全管理



班ごとに竹を処理



竹の搬出

# 森のキセキ

# 軌跡

長崎県森林ボランティア支援センター ～2025年度のふり返し～

早いもので、今年度も終わりに近づいています。センターではこの1年も森林ボランティア団体の皆さま、森林・林業関係者とともに森林に向き合い、研修会やイベント、木育活動等を実施してまいりました。皆さまのお力添えと連携でより良い活動ができたのではないかと思います。以下、1年の歩みをまとめました。ご協力をいただきました皆さま、本当にありがとうございました。



R7.5/9

### ながさき県民参加の 森林づくり (3団体)

森林環境保全事業補助金を活用し、のだけの森こうえんさんがナラ枯れ対策講習会を実施しました。



### フォレストマスター 育成研修

今年度は新たに17名の方にフォレストマスター登録をしていただきました。



R7.5/11

### 技術研修会 (全4回)

長崎市高島にて、樹木医久林氏指導のもと広葉樹の植栽・育樹について学びました。



R7.11/3

### ふるさとの森フェスタ

県民の森で森林イベントを開催。森林ボランティア団体や林業関係者様のご協力のおかげで大盛況となりました。



R7.6/19

### 木育フィールド学習 (16回) / フォレスト マスター派遣 (18回)

今年度も、たくさん子ども達や森林体験を希望する方々に木育の輪を広げることができました。



R7.11/15

### 企業の森づくり (7企業)

昨年度からスタートした日吉自然の家トランスコスモスの森。社員の皆さまが森林整備ボランティアを行いました。



R7.6/21

### 森林ボランティア 団体意見交換会

森林ボランティア団体21団体、企業の森づくりを行う3企業の皆さまにご参加いただきました。



R7.12/13

### 森林ボランティア団体 県外交流会

福岡県民の森でのワンヘルス体験、竹炭など地域資源を活用してを製造販売を行う立花バンパーを視察しました。

## センターからのお知らせ

センターのHPページは→



日頃より森林づくり活動にご尽力いただきありがとうございます。今年度も大変お疲れ様でした。様々な機会でごさまと交流が持てたことを大変嬉しく思っています。

次年度も“楽しみながら” “安全に”をモットーに活動して参ります。どうぞよろしくお祈りします。

登録団体の皆様へ 3月分の活動報告は、4月10日までに提出ください。